

機械器具 58 整形用機械器具
管理医療機器 歯列矯正用帯環 JMDNコード 38734000

バンドマテリアル

再使用禁止

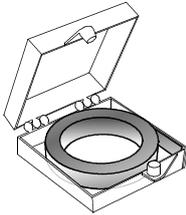
【禁忌・禁止】*

- (1) 再使用禁止
- (2) 含有金属に対し、発疹や皮膚炎等の過敏症の既往歴がある患者には、使用しないこと。

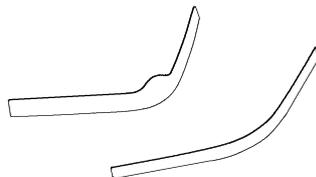
【形状・構造及び原理等】

本品は、次の原材料で作られています。
ステンレス鋼（鉄、クロム、ニッケル、マンガン）

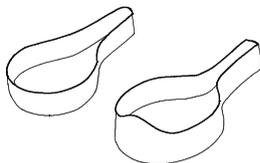
〔ロールバンド〕



〔カントゥアーバンド〕



〔ループバンド〕



【使用目的又は効果】*

帯環を製作する帯状又は環状の材料で、歯列矯正用アタッチメントを硬ろう付け又は溶接し、歯牙の形態に適合させて固定するために用います。

【使用方法等】*

- (1) ロールバンドは、60～70mmの長さに切断し、ブラケットやバックルチューブ等の歯列矯正用アタッチメントを溶接した後に、両端部を重ね合わせループバンドのようにループ状に溶接してバンドフォーミングプライヤに取り付けます。カントゥアーバンドも同様にループ状に溶接します。
- (2) ブラケットやバックルチューブを頬側に合わせ位置決めしたならば、バンドフォーミングプライヤを強く絞り、バンドを歯に完全に適合させてください。
- (3) バンドを歯から外し、重なり合った部分の、歯にできるだけ近い部位を溶接し、この部分を2～3mm程残して余剰部を切除します。
- (4) 金冠バサミでバンド歯肉縁の形態を整え、つまみ部をバンドの舌側面に押し付けて溶接します。
- (5) 金属面が露出しないように、バンドの内側全体に矯正用セメントを塗り、歯冠に合着します。

〔使用方法等に関連する使用上の注意〕

- (1) 歯冠ごとにバンドの形態が異なります。ご使用の際は、必ず歯冠に合ったバンドをご使用ください。
- (2) バンドにブラケットやバックルチューブ、リングアタッチメントを溶接する際は、剥がれたり、穴を開けたりしないよう溶接条件に注意してください。
- (3) バンドプッシャの先端をすべらせて、軟組織を傷つけないように注意してください。

【使用上の注意】*

1. 重要な基本的注意

- (1) 本品の使用により発疹などの過敏症状が現れた患者には、使用を中止し、医師の診察を受けさせてください。

2. 不具合・有害事象

- (1) 一度装着、使用された製品は、変形、劣化、強度低下を招き、感染症を誘発するおそれがあります。
- (2) 本品の使用に伴い、発疹や皮膚炎等の過敏症状が発生することがあります。

【保管方法及び有効期間等】**

〔保管方法〕

- (1) 埃、塩分、水分を多く含んだ空気による悪影響を生ずるおそれのない場所、及び外圧のかからない場所に保管してください。
- (2) 直射日光、高温多湿、紫外線を避けて保管してください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】*

製造販売元：トミー株式会社



TEL 042-363-1151

<http://www.tomyinc.co.jp/>

発売元：TOMY INTERNATIONAL INC.®



株式会社 トミー オルソ

TEL 03-3258-2231

<http://www.tomy-ortho.co.jp/>